

製品名: Fyn (リン酸化Tyr530) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04712**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	FYN
別名	FYN; Tyrosine-protein kinase Fyn; Proto-oncogene Syn; Proto-oncogene c-Fyn; Src-like kinase; SLK; p59-Fyn
遺伝子 ID	2534.0
SwissProt ID	P06241
免疫原	抗血清は、ヒト Fyn の Tyr530 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 488-537

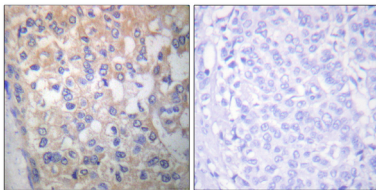
背景

この遺伝子は、タンパク質チロシンキナーゼがん遺伝子ファミリーのメンバーです。細胞増殖の制御に関する膜結合型チロシンキナーゼをコードしています。このタンパク質はホスファチジルイノシトール 3 キナーゼの p85 サブユニットと会合し、fyn 結合タンパク質と相互作用します。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが存在します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]。触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。補因子: マンガン。酵素制御: 白血球共通抗原による Tyr-531 のリン酸化によって阻害され、この部位の脱リン酸化によって活性化されます。機能: 細胞増殖の制御に関与します。細胞内カルシウム濃度の調節に関与し、アイソフォーム 2 はアイソフォーム 1 と比較して細胞質カルシウムを動員する能力が高い。脳の発達と成熟した脳機能に必要であり、軸索の成長、軸索の誘導、および神経突起の伸展の調節に重要な役割を果たす。NTN1 による軸索の伸展と誘引を、その受容体 DDC をリン酸化することによって阻害する。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr タンパク質キナーゼファミリー。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr タンパク質キナーゼファミリー。SRC サブファミリー。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。類似性: 1 つの SH2 ドメインを含みます。類似性: 1 つの SH3 ドメインを含みます。細胞内位置: 脂質ラフトに存在し、活性である。細胞体および成熟・発達中のオリゴデンドロサイトに存在する。サブユニット: SH3 ドメインを介して、ホスファチジルイノシトール 3 キナーゼの p85 サブユニットと会合する。FYN 結合タンパク質 (FYB) と相互作用する。リン酸化 TOM1L1 と相互作用する。B 細胞抗原受容体の活性化時に CD79A と相互作用し、FYN 活性を上昇させる (相同性による)。PAG1 と相互作用する。(SH3 ドメインを介して) PRMT8 と相互作用する。SH2D1A および SLAMF1 と相互作用する。(SH3 ドメインを介して) HEV ORF3 タンパク質と相互作用する。組織特異性: アイソフォーム 1 は脳で高発現し、アイソフォーム 2 は造血系細胞、特に T リンパ球で発現する。、

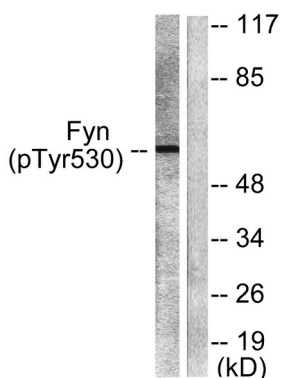
研究分野

軸索誘導、接着斑、接着結合、ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害、T 細胞受容体、Fc イブシロン RI、プリオン病、病原性大腸菌感染症、ウイルス性心筋炎。

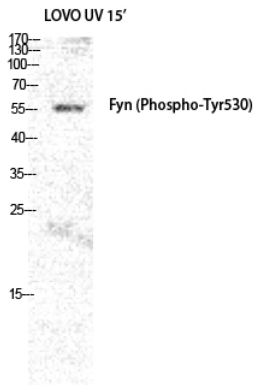
画像データ



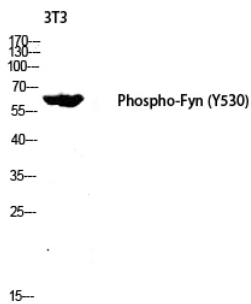
Fyn (リン酸化 Tyr530) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



293 細胞ライセートを 15 分間 H₂O₂ 100 μM で処理し、Fyn (リン酸化 Tyr530) 抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈の Phospho-Fyn (Y530) ポリクローナル抗体を用いた LOVO+UV 細胞のウェスタンブロット解析



リン酸化 Fyn (Y530) 抗体を用いた 3T3 細胞溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。